

## 血液型と性格の関係性について

北田 莉沙 藤田 みのり 本田 綾音 牧野 優香 安原 彩夏

## 要旨

日本では日常的に血液型と性格の関係について語られることがある。血液型と性格には、ほんとうに関係があるのかどうか確認するために、自己の血液型と性格に関するアンケート調査を行った。

キーワード：血液型, 性格

## 1 序論

日本では他の国々にはない「血液型占い」というものが存在している。そのため日本人の間では「B型は自己中心的だ。」というような血液型で性格を判断されることがしばしばある。しかしその血液型と性格のはっきりとした関係性は確立されていない。本研究ではまず、自己の性格と血液型について高校一年生から三年生の生徒522名に質問紙調査を行い、血液型と性格の関係性について明らかにした。続いて、血液型占いの起源を調べ、今の血液型診断の基準となった契機について探った。

## 2 質問紙調査

表1のように、本やインターネットで血液型別に世間で言われている性格を書き出して、それをランダムで並べ、生徒522人に自分の性格にあてはまると思うものに印をしてもらった。また同時に生徒の血液型も記入してもらった。

表1の数字は単に文章を区別するために置いたものである。

表1 調査に用いた質問

周りの人に気を使う	A型1
歩くのが速い	B型1
自分のことを知ってくれ願望	O型1
人のウソはすぐわかる	AB型1
大切にしているものを触られるのが嫌だ	A型2
周りがやる気満々だとやる気がしない。周りがやる気がないと逆にやる気になる	B型2
他人に自分がどう見られているのかが気になる	O型2
その場で沈黙が続いてもぜんぜん平気	AB型2
団体行動は苦じゃない	A型3
猫に嫌われる。避けられる	B型3
誰かの秘密を聞き出すのがうまい	O型3
悩み事は相談しない	AB型3
遠まわしに言いたいことを言っても伝わらない	A型4
気に入ったお店は人に教えない	B型4
知り合いの前と親友の前とでは態度が全然違う	O型4
口をだされると「あー。もうやんなっちゃった。」と手を抜く	AB型4
本当の自分を誰も知らない	A型5
自分に部屋に食べかすとかこぼされると怒りメーターが一気に上昇	B型5
悩み事は誰かに話してすっきり	O型5
社交辞令はおてのもの	AB型5

質問紙調査の結果、それぞれの血液型について次の、表2の結果を得た。

表2 集計の結果

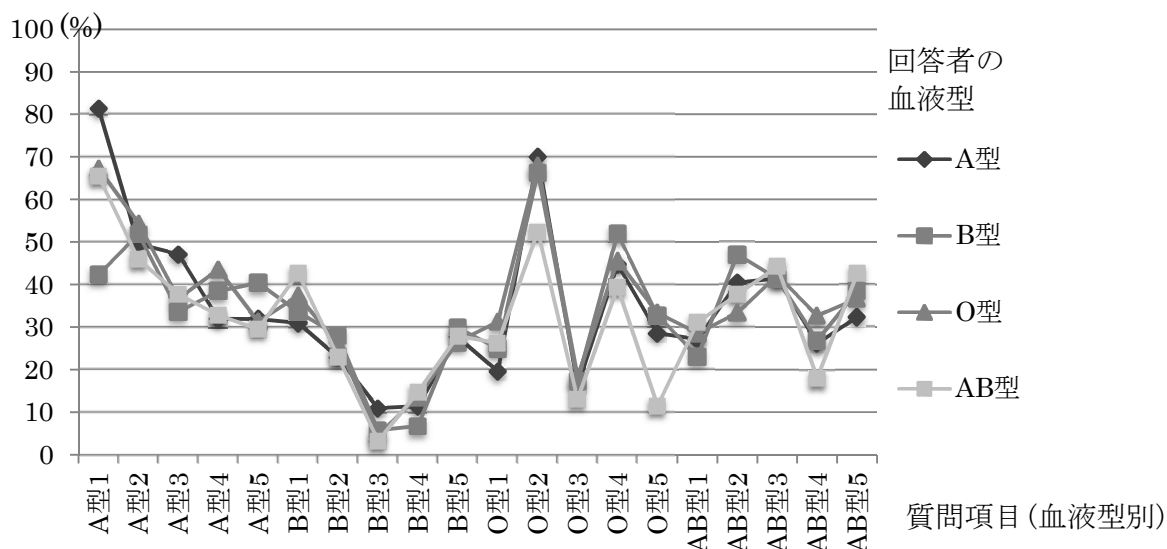


表2の結果,血液型に関わらず質問項目ごとの割合がほぼ同じであったため,血液型と性格にははっきりとした関係性は見られないと考えられる。

### 3 仮説の設定と検証

#### (1) 仮説

はっきりとした関係性がみられないことが表2から分かる。このことから,日本人は関係性がないにもかかわらず血液型での性格診断を信じている人が多いことが分かった。そこで,次のような仮説を立てた。

日本人の血液型の人口の割合のうち4割がA型である。また,アンケートの結果,他の項目に比べてA型の項目に対して回答した人の割合が多いことが分かる。比較的血液型診断には他の血液型よりもA型の血液型のほうが優位に書かれているので,血液型診断がA型の割合の多い日本人に受け入れられやすかったのではないかと推察される。

#### (2) 検証方法

文献調査,インターネット

#### (3) 結果

第一次世界大戦後のドイツでは人種差別を正当化するために血液型性格診断が利用されていた。遺伝のしくみは当時から知られていたが「血液型=性格」であれば,性格は遺伝によって決まることになり,ドイツ人の遺伝子が優秀であることを示すのに都合がよかった。1932年に出版された「血液型便覧」には,ドイツ人に割合が高いA型に対しては「知能」「勤勉」などのプラスのことが書かれ,ユダヤ人やアジア人に割合が高いB型に対しては「暴力犯罪者」「精神薄弱者」「感染に弱い」などマイナスのことが書かれている。

### 4 結論

血液型と性格にははっきりとした関係性がないことが明らかになった。また日本の人口のうち約4割がA型であることから,第一次世界大戦後のドイツで利用されたA型優位な血液型性格診断が日本で受け入れられやすかったと考える。

#### 【参考文献】

- ・松尾友香:よくわかる最新血液型の基本と仕組み,秀和システム(2009)
- ・Jamais Jamais:A型自分の説明書,文芸社(2008)
- ・Jamais Jamais:B型自分の説明書,文芸社(2007)
- ・Jamais Jamais:O型自分の説明書,文芸社(2008)
- ・Jamais Jamais:AB型自分の説明書,文芸社(2008)